

協働のまちづくり指針ができました

この指針は「甲賀市まちづくり基本条例」の理念を具現化し、この条例の実効性を高めるための仕組みや施策を定め、市民と行政が協働によるまちづくりを総合的、計画的に進めることをめざして作りました。
市行政もしっかり役割と責任を果たしてまいりますので共に力を合わせて持続可能で活力ある地域社会をつくりましょう。

オール甲賀で未来につなぐみんなでつくる協働のまち

協働の基本姿勢

市民と行政が知恵と力を合わせて協働によるまちづくりを推進していくためには、次の基本的な姿勢が必要です。

① 自ら行動する姿勢 ～まちづくりの担い手という意識をもちましょう～

自らがまちづくりの担い手であるということを自覚して市民も行政も相互に依存しすぎることなく、それぞれのできることやすべきことを考えながら行動することが大切です。

② つながりあう姿勢 ～つながりあって、新たな発想で考えましょう～

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、分野・立場を超えた多様なつながりをつくることによって、相互に新しい可能性が生まれます。つながりから新たな発想や、相乗効果が得られることがあります。

③ 地域に対する想いを持つ姿勢 ～地域を愛しましょう～

甲賀市には各地域に素晴らしい自然・文化・歴史、人の絆があり、地域への愛着や誇りをもって活動している人がたくさんいます。こういった「甲賀市のことが好き」「このまちに住み続けたい」という地域を愛する想いをもって、甲賀市の自然・文化・歴史等の魅力を再認識し、未来を見据えたまちづくりに取り組むことが大切です。

本市が進めている自治振興会の活動においては、行政と連携、協力しながら、高齢者の見守り活動や空き家対策等、地域の課題解決に向け一緒に取り組んでいます。



協働の領域について

公共的活動(公共サービス)

協働にふさわしい領域

【A】市民主体 民間主体	【B】市民主導 民間主導	【C】対等 市民・行政	【D】行政主導	【E】行政主体
市民が、主体性と責任をもって行う領域	市民の主体性のもと、行政の協力によって行う領域	市民と行政が、それぞれの主体性のもと、連携・協力して行う領域	行政の主体性のもと、市民の参加・協力を得ながら行う領域	行政が、主体性と責任をもって行う領域

「時代が動くとき」(山岡義典著 ぎょうせい 1999年)をもとに作成

詳しくは市ホームページをご覧ください
市ホームページ▶



甲賀市市民参画・協働推進検討委員会委員を募集します

市民参画の推進および協働によるまちづくりに関し、必要な事項について調査・審議します。

- 対象 18歳以上で、市内在住か通勤・通学している方。ただし、市の議員や職員、他の審議会などの委員を除く
- 任期 令和4年10月から令和6年9月まで *年3回程度の会議
- 定員 2人(選考・面接)
- 申込 9月1日(木)～9月15日(木)
- 面接日 9月28日(水)

問合せ・申込み：市民活動推進課 (Tel) 70-6032 (Fax) 70-6046

甲賀流忍術の原点？ 幻の忍術書「間林清陽」が見つかった！

見つかった「間林清陽」の表紙
▼※「巻中」との表記がある



●問合せ：観光企画推進課 (Tel) 69-2190 (Fax) 63-4087
歴史文化財課 (Tel) 69-2252 (Fax) 69-2293

全40ページには48項目の忍術や戦術が書かれた「間林清陽」



磯田道史氏などが現地調査を実施

6月19日、甲賀流忍者調査団の団長であり国際日本文化研究センター教授の磯田道史氏、三重大学国際忍者研究センター副センター長の山田雄司氏、甲賀市地域おこし協力隊の福島 嵩仁さんらが葛木区の協力を得て現地調査を行いました。

どこで発見したの？

三重大大学院時代から、忍術書「万川集海」の調査研究を行ってきた地域おこし協力隊の福島さんが甲南町葛木区内の施設で発見されました。



▲会場で発見したときの様子を話す福島さん(左)

どんな書物なの？

甲賀・伊賀流忍術が記された書物「万川集海」(市指定文化財)の冒頭に次のとおり記載があります。

“この万川集海は、始めから終わりまで「間林精要(清陽)」の要点をまとめ、伊賀・甲賀11人の忍者が秘匿(ひとく)していた忍術や忍器のうち、時代に合わないものを捨て、合うものを選んでまとめたもの(意識)。”

このことから本書は「万川集海」の元になった忍術書で

今後、市では「間林清陽」に書かれた「忍器」や「忍具」を再現し、多くの方に見ていただけるよう、様々な活用やPRをしていきます。「間林清陽」について詳しくは市ホームページをご覧ください。 市ホームページ▶



あると考えられ、これまで個人所蔵のものがあったとされていましたが、公的に存在及び内容が明らかとなったのは初めてのことで。

また、本書は「万川集海」(1676年)ができた約70年後(1748年頃)に書かれた写本です。

実践的な忍術の中にワクワクさせる戦術も!?

全40ページの中には、忍び込む時に音を立てない方法や敵に囲まれた際の対処法、忍具の作り方など48項目が記載されています。

中には“敵に囲まれ危うい時には、ひと魂となり敵の右へと切りかける”といったこれまでにない実践的な忍術なども書かれてありワクワクさせてくれます。

「上」「下」巻の発見にも期待が!?

今回発見された表紙には「巻中」とあることから、上下巻の存在にも期待が高まります。

皆さんの自宅や地域の神社などに「もしや!?!」というものがあれば、ぜひ市へご連絡ください。

「間林清陽」をぜひ見に来てね! /

以下のとおり展示します。

- ◆展示期間：9月10日(土)から
 - ◆場所：観光インフォメーションセンター 甲賀流リアル忍者館 (甲南町電法師600 忍の里プララ内)
- ※展示品は複製です。



第5回国際忍者学会大会

忍者に関する研究発表や、歴史学者磯田道史氏の甲賀忍者に関する講演等が開催されます。

- 日時 9月10日(土)12時～18時(総会・大会)、9月11日(日)8時30分～16時30分(市内巡検)
- 場所 観光インフォメーションセンター甲賀流リアル忍者館(甲南町電法師600 忍の里プララ内)
- 内容 テーマ発表「甲賀忍者を追う」、自由発表、磯田道史氏基調講演、市内巡検
- 定員 大会：210名、巡検38名
- 参加費 大会：2,000円、巡検：3,000円(学生はいずれも1,000円割引)
- 申込方法 国際忍者学会WEBサイトの申込フォームからお申込みください。
- 申込締切 9月6日(火)

問合せ・申込み：国際忍者学会事務局 (Tel) 0595-51-7154

